

あ お だ け

あかるく いつも さきに つける

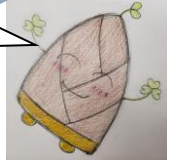
竹山小学校創立50周年 令和3年11月30日



11月は1年生種取り、2年生サツマイモ収穫、5年生稲の脱穀と、実りの秋を味わいました！

12月号

朝日にきらきら輝くイチヨウの葉がとてもきれいですね！



校長 大原 敦子

めあて・スローガンに向かって取り組むことの価値

朝晩の冷え込みが厳しくなり、布団が恋しい季節になりました。明日からいよいよ師走。時がたつのは本当に早いものです。また、毎日の健康観察や風邪症状のときに登校を控えていただく等のご協力に心より感謝申し上げます。

6年生は11月12、13日と日光修学旅行に無事行ってきました。こちらも2週間前からのご家族を含めた健康観察等、保護者の方々のご協力のおかげで、子どもたちは素晴らしい体験をすることができました。そして、おうちの方々や旅行にかかわってくださった様々な方々の支えやご配慮に子どもたちが感謝の気持ちをもって参加していたことが、私たち職員も大変うれしかったです。



6年生は『日光の自然とふれ合い歴史を学び 協力して最高の思い出をつくろう！』というスローガンを掲げて出発しました。活動を通して、日光の自然の美しさに素直に感動したり、世界遺産の建造物をじっくりと味わったりしました。また、グループ活動や宿舎での生活では、互いに声をかけ合ったり、いつもの自分より少しだけ頑張ったり、室長会議では1日目の反省を生かしてこれから具体的にどのように取り組むのか、一人ひとりが考えを出したりしていました。自分たちのスローガンを意識して自分たちでつくり上げる姿がたくさん見られた修学旅行でした。

1、2年生は、11月19日にズーラシア遠足に行きました。こちらも『たのしくきょうカ ズーラシア』というスローガンをつくり、実行委員も1、2年生で協力して練習を重ね、当日はしっかりと進行了しました。そして、グループ活動では2年生がリードして声をかけ、1年生と協力して活動することができ、どちらの学年も成長の見られた遠足でした。

さて、今年メジャーリーグでMVPをとった大谷翔平選手。彼の話で「目標を立てればいいのではなく、いかに目標に向かって真剣に取り組めるかも大切です」「どうするべきかを考えながらやるのが大切です。同じことをやっても成長の度合いが全然違います」という言葉がありました。学校では、前述のスローガンのみならず、どの学年もめあてやスローガンをつくり、それに向かって努力を重ね、振り返り、次の活動へと生かしていくことを続けています。大谷選手も子どもたちも同じだと感じました。この流れを積み重ねていくことが、子どもたち一人ひとりの成長に確実につながっていくとも思いました。そして、子どもたちにしっかりと価値づけし、今後も大切にしていきたいと改めて思いました。

令和3年2021年、今年も大変お世話になりました。皆様、よいお年をお迎えください。